

第6回炉物理実験データ保存 WG 議事録

1. 日時 : 2006年3月17日(金) 13:30~17:00
2. 場所 : 田町キャンパスイノベーションセンター 303号室
3. 出席者 : 9名、順不同・敬称略
三澤毅(リーダー、京大炉)、山根義宏(名大)、中島健(京大炉)、松本英樹(三菱重工)、吉岡研一(東芝)、山本宗也(GNF-J)、伊藤 卓也(NFI)、羽様平(幹事、JAEA)、小嶋健介(幹事、JAEA)
4. 配布資料 :
 - RPE-6-1 第5回炉物理実験データ保存に関するWP議事録
 - RPE-6-2 OECD/NEA IRPhEの現状について
 - RPE-6-3(1) IRPhEプロジェクトに送付したJOYO MK-I, ZPPR-10A, DCAデータの処理状況
 - RPE-6-3(2) Independent Review for Benchmark Data of Japan's Experimental Fast Reactor JOYO MK-I Core: JOYO-LMFR-EXP-001
 - RPE-6-3(2) OECD/NEAのIRPhE会議(11/4)でのJOYO, ZPPR-10A, DCAデータに関する議論と宿題
 - RPE-6-4(1) KUCA実験 名古屋大学記入例
 - RPE-6-4(2) KUCA特性実験報告書(報告者:名古屋大学)
 - RPE-6-4(3) Measurement of Reactivity Effect and Thermal Neutron Flux in Non-uniformly Distributed Fuel Assemblies (JNST, 31, 640 (1994))
 - RPE-6-5 NCAデータベース収録実験
 - RPE-6-6 炉物理実験データベース作成ツール
5. 議事 :
 - (1) 前回議事録の確認(資料 RPE-6-1)
 - (2) 国内版実験データベースの整備について(三澤リーダー、山根委員、吉岡委員)
資料 RPE-6-4(1)~(3)、RPE-6-5、RPE-6-6に基づいて、説明が行われた。これに対し、以下の議論・質疑があった。
 - 名古屋大学が KUCA において実験を行った内容については名古屋大学が作成した実験報告書に基づいて整理を行う。
 - KUCA での他の大学の実験データについては名古屋大学が作成したものと同様の実験報告書に基づいて京大炉が中心となって整理を行う。
 - NCA での実験データについては公開できるものに限定されるがデータベースを作成するように進める。
 - データベースの作成については北田委員が作成した「炉物理実験データベース

作成ツール」を利用する。データ管理の利便性を考慮して Excel に整理を行う。
ツールの使い方の改良については北田委員にお願いする。

- データベース毎の情報量は各施設に任せる。
- 公開方法については、Excel ファイルをダウンロードできるようにし、データを置くサーバについては日本原子力学会炉物理部会のサーバが使えないか確認する。

(3) IRPhE プロジェクトの現状について (三澤リーダー)

資料 RPE-6-1 に基づいて、説明が行われた。

(4) IRPhE プロジェクトに送付したデータについて (羽様幹事)

資料 RPE-6-3(1)～(3)に基づいて、IRPhE プロジェクトに送付した JOYO, ZPPR-10A, DCA のデータ 05 年 11 月に開催された IRPhE 会合での議論に基づいて行った変更点等についての説明が行われた。これに対して、今後のこれらのデータの検討方法についての議論があった。

(5) 次回会合の開催

- 開催予定日：未定